



プレゼンス ゲートウェイ

プレゼンス ゲートウェイのウィンドウを使用して、プレゼンス エンジンがプレゼンス情報を受信するために必要なゲートウェイを設定します。

プレゼンス ゲートウェイの検索

ネットワークにプレゼンス ゲートウェイが複数存在する場合があるため、Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定のゲートウェイを検索することができます。特定のプレゼンス ゲートウェイを検索するには、次の手順を実行します。



(注)

ブラウザセッションでの作業中、クライアント マシンの cookie により、検索/一覧表示の設定が保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニューに戻るか、ブラウザを閉じてから新しいブラウザ ウィンドウを開くと、検索の設定を変更するまで、Cisco Unified Presence の検索の設定がシステムで維持されます。

手順

ステップ 1 Cisco Unified Presence > [プレゼンスエンジン] > [プレゼンスゲートウェイ] の順に選択します。

[プレゼンスゲートウェイの検索と一覧表示 (Find and List Presence Gateways)] ウィンドウが表示されます。アクティブ (優先) クエリーのレコードもウィンドウに表示される場合があります。

ステップ 2 データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 3](#)に進みます。

レコードをフィルタリングするかまたは検索します。

- ドロップダウン リスト ボックスから検索パターンを選択します。
- 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。



(注)

検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。検索条件を追加すると、指定したすべての検索条件に一致するレコードが検索されます。検索条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した検索条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして追加したすべての検索条件を削除します。

■ プレゼンス ゲートウェイの設定

ステップ 3 **[検索]** をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスで異なる値を選択すると、各ウィンドウに表示する項目の数を変更できます。



(注) 対象のレコードの隣にあるチェックボックスをオンにしてから**[選択項目の削除]**をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。**[すべてを選択]**をクリックしてから**[選択項目の削除]**をクリックすると、この選択で設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されるレコードのリストから、表示対象となるレコードのリンクをクリックします。



(注) ソート順序を逆にするには、必要に応じて、リストのヘッダーにある上向きまたは下向きの矢印をクリックします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.9-4 の「[関連項目](#)」を参照してください。

プレゼンス ゲートウェイの設定

この項では、Cisco Unified Presence データベースでプレゼンス ゲートウェイを追加または更新する方法について説明します。

手順

ステップ 1 次のいずれかのタスクを実行します。

- プレゼンス ゲートウェイを追加するには、Cisco Unified Presence > **[プレゼンスエンジン]** > **[プレゼンスゲートウェイ]** の順に選択し、**[新規追加]** をクリックします。
- プレゼンス ゲートウェイを更新する場合、P.9-1 の「[プレゼンス ゲートウェイの検索](#)」の手順に従ってプレゼンス ゲートウェイを検索します。

[プレゼンスゲートウェイの設定 (Presence Gateway Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [表 9-1](#) の説明に従って適切な設定を入力します。

ステップ 3 データを保存するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される**[保存]** アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される**[保存]** ボタンをクリックします)。

追加情報

P.9-4 の「[関連項目](#)」を参照してください。

プレゼンスゲートウェイの設定値

表 9-1 で、プレゼンス ゲートウェイの設定値について説明します。関連する手順については、P.9-4 の「関連項目」を参照してください。

表 9-1 プレゼンス ゲートウェイの設定値

フィールド	説明
プレゼンスゲートウェイタイプ (Presence Gateway Type)	ドロップダウン リストから、次のゲート タイプを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> CUCM : Cisco Unified Communications Manager ゲートウェイ Outlook : Outlook カレンダーの Microsoft Exchange ゲートウェイ  <p>(注) Cisco Unified Presence の管理ページに、選択したゲートウェイ タイプの該当するフィールドが表示されます。</p>
説明 (Description)	このパラメータは、プレゼンス ゲートウェイの説明を指定します。 最大文字数 : 255
プレゼンスゲートウェイ (Presence Gateway)	このパラメータは、関連付けられたゲートウェイの完全修飾ドメイン名または IP アドレスを指定します。
アカウント名 (Account Name) (Outlook のみ)	このパラメータは、Cisco Unified Presence が Microsoft Exchange サーバに接続するために使用するグローバル アカウント名を指定します。
アカウントパスワード (Account Password) (Outlook のみ)	このパラメータは、Microsoft Exchange サーバのアカウント パスワードを指定します。
パスワードの確認 (Confirm Password) (Outlook のみ)	このパラメータは、Microsoft Exchange サーバのアカウント パスワードを確認します。Account Password エントリと一致する必要があります。
プレゼンスゲートウェイポート (Presence Gateway Port) (Outlook のみ)	このパラメータは、Microsoft Exchange サーバに接続するポートを指定します。 デフォルト値 : 443
信頼証明書件名 CN(Trust Certificate Subject CN) (Outlook のみ)	このパラメータは、信頼証明書の Common Name の値を指定します。

プレゼンス ゲートウェイの削除

この項では、プレゼンス ゲートウェイの削除方法を説明します。

手順

-
- ステップ 1** P.9-1 の「[プレゼンス ゲートウェイの検索](#)」の手順に従いゲートウェイを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除するゲートウェイを選択します。
- ステップ 3** ゲートウェイを削除するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される **[選択項目の削除]** アイコンをクリックします（または、ウィンドウの下部に表示される **[選択項目の削除]** ボタンをクリックします）。

ゲートウェイが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。ゲートウェイが使用中の場合は、メッセージが表示されます。

追加情報

P.9-4 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [プレゼンス ゲートウェイの検索 \(P.9-1\)](#)
- [プレゼンス ゲートウェイの設定 \(P.9-2\)](#)
- [プレゼンス ゲートウェイの削除 \(P.9-4\)](#)